



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8032 URL <https://www.kamipa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 昭彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 藤井 賢一郎 (TEL) 03(3534)8522
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	401,077	△1.1	9,123	2.7	8,452	△6.2	5,491	10.1
2019年3月期第3四半期	405,536	4.5	8,882	25.8	9,013	26.9	4,988	7.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,287百万円(161.7%) 2019年3月期第3四半期 2,021百万円(△80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	394.80	393.08
2019年3月期第3四半期	353.92	351.90

(注) 前第3四半期連結累計期間において行われた企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	362,567	89,442	22.8
2019年3月期	349,656	94,745	24.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 82,547百万円 2019年3月期 86,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	55.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	545,000	1.8	10,500	△2.8	10,000	△7.0	5,500	42.1	395.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	15,021,551株	2019年3月期	15,021,551株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,371,150株	2019年3月期	928,575株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	13,908,082株	2019年3月期3Q	14,093,564株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高401,077百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益9,123百万円（同2.7%増）、経常利益8,452百万円（同6.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,491百万円（同10.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

「国内卸売」

売上高は、消費税増税後の反動による梱包用段ボールの荷動きの低迷や電子化による紙の構造的な需要減少により紙・板紙の販売数量が減少したものの、販売価格の維持により前年同期比0.8%増の221,014百万円となりました。また経常利益についても、紙・板紙の販売価格の維持により7.0%増の3,955百万円となりました。

「海外卸売」

売上高は前第3四半期連結会計期間末に連結の範囲に加わったSpicers Paper (Malaysia) Sdn. Bhd. (現OVOL Malaysia Sdn. Bhd.)、Spicers Paper (Singapore) Pte Ltd (現OVOL Singapore Pte. Ltd.)および第2四半期連結会計期間末に連結の範囲に加わったRADMS Paper Limited (英国)の業績が反映されているものの、米中貿易摩擦の影響等による世界的な紙・板紙の需要減少の影響があったことにより、前年同期比1.9%減の134,194百万円となりました。また経常利益は、市況品種の価格下落の影響により粗利が大幅に落ち込んだことに加え、為替差損やM&Aによるのれん償却費および株式取得関連費用の発生などにより96.7%減の72百万円となりました。

「製紙及び加工」

売上高は家庭紙製品や段ボール原紙の販売価格の維持により、前年同期比4.6%増の19,521百万円となりました。経常利益は、原料古紙価格が当第3四半期連結累計期間において低位安定したことにより、62.1%増の5,372百万円となりました。

「資源及び環境」

中国における廃棄物輸入規制の継続実施により古紙の需給が緩んだことから国際市況が大幅に下落し、売上高は前年同期比21.1%減の22,428百万円、経常利益は93.0%減の88百万円となりました。

「不動産賃貸」

2018年7月から稼働したOVOL日本橋ビルと2019年4月に稼働したOVOL京都駅前ビルからの賃貸料収入が増加したことにより、売上高は前年同期比56.4%増の3,920百万円となりました。経常利益は、OVOL日本橋ビル、OVOL京都駅前ビルの減価償却費や不動産管理費用などが増加したものの、売上高の大幅な増加により357.9%増の1,224百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、英国RADMS Paper Limited及びその子会社6社（Premier Paper Group Limited他）を連結子会社化したことに伴う売上債権、たな卸資産及びのれん等の増加並びに一部の在外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことに伴う有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて12,911百万円増加し、362,567百万円となりました。

総負債は、固定資産の取得に係る未払金の減少やコマーシャル・ペーパーの返済があった一方、社債の発行や長期借入金の新規調達及び一部の在外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことに伴う固定負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて18,214百万円増加し、273,124百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方、自己株式の買付による取得及び非支配株主からの子会社株式追加取得による資本剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べて5,303百万円減少し、89,442百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を踏まえ、2020年3月期通期の連結業績予想を下方修正し、売上高は545,000百万円（前回発表予想560,000百万円）、営業利益は10,500百万円（同13,300百万円）、経常利益は10,000百万円（同13,000百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,500百万円（同7,500百万円）に変更いたしました。詳細につきましては2020年2月5日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,855	8,895
受取手形及び売掛金	141,424	143,109
たな卸資産	38,049	40,702
その他	5,168	4,666
貸倒引当金	△943	△927
流動資産合計	191,553	196,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,757	48,085
土地	32,480	33,558
その他（純額）	27,333	33,745
有形固定資産合計	109,570	115,387
無形固定資産		
のれん	3,647	6,740
その他	2,212	2,192
無形固定資産合計	5,859	8,932
投資その他の資産		
投資有価証券	35,633	34,821
その他	9,229	8,898
貸倒引当金	△2,229	△2,043
投資その他の資産合計	42,633	41,676
固定資産合計	158,062	165,996
繰延資産	41	127
資産合計	349,656	362,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,770	101,840
短期借入金	45,249	42,547
1年内返済予定の長期借入金	5,355	9,618
コマーシャル・ペーパー	14,500	6,500
1年内償還予定の社債	10,000	10,023
未払法人税等	2,455	1,572
引当金	4,476	1,764
その他	14,540	11,545
流動負債合計	197,344	185,408
固定負債		
社債	10,000	30,045
長期借入金	35,837	39,668
引当金	984	1,071
退職給付に係る負債	5,123	5,418
その他	5,623	11,514
固定負債合計	57,566	87,716
負債合計	254,911	273,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	15,258	10,482
利益剰余金	50,878	54,723
自己株式	△3,625	△5,207
株主資本合計	79,160	76,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,206	7,699
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	78	△1,161
退職給付に係る調整累計額	△871	△638
その他の包括利益累計額合計	7,416	5,901
新株予約権	217	152
非支配株主持分	7,952	6,743
純資産合計	94,745	89,442
負債純資産合計	349,656	362,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	405,536	401,077
売上原価	357,112	349,366
売上総利益	48,424	51,711
販売費及び一般管理費	39,543	42,588
営業利益	8,882	9,123
営業外収益		
受取利息	46	124
受取配当金	559	613
持分法による投資利益	341	226
その他	694	500
営業外収益合計	1,641	1,462
営業外費用		
支払利息	1,391	1,739
その他	119	394
営業外費用合計	1,510	2,133
経常利益	9,013	8,452
特別利益		
廃棄物処理費用引当金戻入益	—	953
負ののれん発生益	321	443
固定資産売却益	170	282
段階取得に係る差益	—	83
投資有価証券売却益	278	17
投資有価証券清算益	51	—
固定資産受贈益	38	—
その他	—	25
特別利益合計	858	1,803
特別損失		
廃棄物処理費用引当金繰入額	—	274
固定資産処分損	24	111
投資有価証券評価損	241	6
年金基金脱退損失	416	—
投資有価証券売却損	25	—
その他	2	3
特別損失合計	708	395
税金等調整前四半期純利益	9,163	9,860
法人税、住民税及び事業税	2,852	2,998
法人税等調整額	125	109
法人税等合計	2,977	3,106
四半期純利益	6,186	6,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,198	1,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,988	5,491

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,186	6,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,136	△532
繰延ヘッジ損益	6	△2
為替換算調整勘定	△779	△1,184
退職給付に係る調整額	186	233
持分法適用会社に対する持分相当額	△442	20
その他の包括利益合計	△4,165	△1,466
四半期包括利益	2,021	5,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,049	3,975
非支配株主に係る四半期包括利益	971	1,312

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年4月26日付で、連結子会社であるBall & Doggett Group Pty Ltdの株式を追加取得いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が4,737百万円減少しております。

当社は2019年8月28日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月29日付で自己株式476,300株の取得を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,717百万円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が10,482百万円、自己株式が5,207百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当いたしません。第2四半期連結会計期間より、RADMS Paper Limited及びその子会社6社(以下「RADMSグループ」といいます。)を、当社による株式取得のため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則全てのリースについて資産及び負債の認識をしております。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の流動資産の「その他」が293百万円、有形固定資産の「その他」が6,368百万円、投資その他の資産の「その他」が75百万円、流動負債の「その他」が1,019百万円、固定負債の「その他」が5,977百万円それぞれ増加しております。また、第1四半期連結会計期間期首の利益剰余金が97百万円、非支配株主持分が93百万円それぞれ減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	219,231	136,725	18,655	28,419	2,506	405,536	—	405,536
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,298	175	19,492	6,093	94	32,152	△32,152	—
計	225,530	136,900	38,147	34,513	2,600	437,689	△32,152	405,536
セグメント利益 又は損失(△)	3,696	2,177	3,314	1,261	267	10,715	△1,702	9,013

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△599百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「海外卸売」セグメントにおいて、前第3四半期連結会計期間に実施したSpicers Paper (Malaysia) Sdn. Bhd. (現OVOL Malaysia Sdn. Bhd.)との企業結合について、暫定的な取得原価の配分を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に暫定的な取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、負ののれん発生益の額を321百万円に修正しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	221,014	134,194	19,521	22,428	3,920	401,077	—	401,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,422	639	20,835	5,340	95	33,331	△33,331	—
計	227,436	134,833	40,356	27,768	4,015	434,408	△33,331	401,077
セグメント利益 又は損失 (△)	3,955	72	5,372	88	1,224	10,710	△2,258	8,452

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△342百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

3 前第3四半期連結会計期間において行われた企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該見直し反映後のものを記載しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、RADMSグループを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度末日に比べ、「海外卸売」のセグメント資産が15,008百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、RADMSグループを連結子会社としたことに伴い、「海外卸売」セグメントにおいて、のれん4,047百万円を計上しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社丸二ちきりやの株式を追加取得し、同社を持分法適用関連会社より連結子会社に変更いたしました。これに伴い、「国内卸売」セグメントにおいて、負ののれん発生益443百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

(追加情報)

(廃棄物処理費用引当金について)

2019年4月25日付「社内調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」、および、2019年4月26日付「当社及び連結子会社における特別損失の計上に関するお知らせ」でお知らせしております通り、当社および当社グループは産業廃棄物の不適正処理に関して、搬出された造粒固化物の自主撤去を順次進めております。

当該撤去にかかる費用等に備えるため、将来発生すると見込まれる金額を合理的に見積り、「廃棄物処理費用引当金」を流動負債の引当金に含めて連結貸借対照表に計上しております。当第3四半期連結累計期間までに使用された造粒固化物を含む土砂の撤去処理が完了した拠点における費用確定金額、および、撤去対象拠点での最新の見積り金額に基づき、拠点ごとの廃棄物処理費用引当金との差額を特別損益に計上いたしました。

廃棄物処理費用引当金

2019年3月末残高 2,434 百万円

2019年12月末残高 679 "

特別利益 953 " 廃棄物処理費用引当金戻入益

特別損失 274 " 廃棄物処理費用引当金繰入額